

計量証明検査申請書

年 月 日

長野県計量検定所長 殿

申請者 住 所 _____

氏名又は名称及
び法人にあって
は代表者の氏名 _____

下記の計量器につき、計量法第116条第1項の検査を受けたいので、申請します。

1 登録の年月日及び登録番号

昭和・平成・令和	年 月 日	環境第	号	(濃度(水又は土壌))
昭和・平成・令和	年 月 日	環境第	号	(濃度(大気))
昭和・平成・令和	年 月 日	環境第	号	(音圧レベル)
昭和・平成・令和	年 月 日	環境第	号	(振動加速度レベル)

2 事業の区分

- 濃度（水又は土壌）に係る計量証明事業
- 濃度（大気）に係る計量証明事業
- 音圧レベルに係る計量証明事業
- 振動加速度レベルに係る計量証明事業

3 検査を受ける特定計量器

別表のとおり（数量 _____ 個、手数料 _____ 円）

4 検査を受けることを希望する期日

年 月 日

備考

用紙の大きさは日本産業規格A4とすること

別 表

計量器の種類	器物番号	検出部の数	数 量	単 価 (円)	
		表示機構数			
騒音計 8,000ヘルツ以下				23,800	
8,000ヘルツ超え				39,100	
振動レベル計				33,800	
濃度計 ア ジルコニア式酸素濃度計又は 磁気式酸素濃度計				97,600	
イ 溶液導電率式二酸化硫黄濃度計		表示機構数	台	129,400	
ウ 紫外線式二酸化硫黄濃度計		表示機構数	台	97,300	
エ 紫外線式窒素酸化物濃度計		表示機構数	台	108,700	
紫外線式二酸化硫黄濃度計及び 紫外線式窒素酸化物濃度計の一体型				155,100	
オ 非分散型赤外線式二酸化硫黄濃度計		検出部の数	台	102,900	
		表示機構数	台		
カ 非分散型赤外線式窒素酸化物濃度計		検出部の数	台	119,000	
		表示機構数	台		
キ 非分散型赤外線式一酸化炭素濃度計		検出部の数	台	103,800	
		表示機構数	台		
ク 化学発光式窒素酸化物濃度計		表示機構数	台	111,000	
ケ ガラス電極式水素イオン濃度指示計				26,700	

(備考) 濃度計のウ及びエに掲げる濃度計が構造上一体となっているものにあつては、濃度計のウ及びエに定める額を合算して得た額から5万900円を減ずるものとする。

濃度計のオからキまでに掲げる濃度計のうち2以上の検出部を有するものにあつては、検出部が1増すごとに、それぞれの濃度計のオからキまでに定める額に2分の1を乗じて得た額を加えるものとする。

濃度計のウからクまでに掲げる濃度計のうち4以上の表示機構を有するものにあつては、表示機構が3を超えて1増すごとに、それぞれの濃度計のウからクまでに定める額に2万2,100円を加えるものとする。

(注) 同一機種で複数を記入する場合は、2行に記入するかまたはこの用紙をコピーしてください。